2026（令和 8）年度

日本大学一般選抜

Ｎ全学統一方式

第２期

【試験問題の出題意図】

※出題意図の内容に関する質問，照会には一切回答しません

外　国　語

「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」

Ⅰ　文法（多肢選択問題）

短文形式の空所補充問題を通じて標準的な英文法・語法の知識を問うとともに，文脈に即してそれらを正しく活用し，適切な英文を構成する能力を考査することを意図した。

Ⅱ　語彙（多肢選択問題）

短文形式の空所補充問題を通じて，日常的な場面で使われる重要語彙や慣用表現，および語法の正確な理解に基づき，文脈に即してそれらを適切に活用する能力を考査することを意図した。

Ⅲ　熟語（多肢選択問題）

短文形式の空所補充問題を通じて，文脈を正しく理解した上で，句動詞や慣用表現を適切に活用する能力を考査することを意図した。

Ⅳ　中文読解（多肢選択問題）

「赤道」に関する英文の空所補充問題を通じて，文脈に合致する語彙や文法事項を正しく理解し活用する能力を考査することを意図した。

Ⅴ　長文読解（多肢選択問題）

「宇宙旅行の歴史や身体的・心理的な影響」に関する科学的な論説文を通じて，各段落の要旨や具体的な事実関係を正しく読み取る読解力を考査することを意図した。

Ⅵ　対話文（多肢選択問題）

「電気自動車への移行」をめぐる対話文を通じて，それぞれの話者の主張を正確に把握し読み取る力を考査することを意図した。

Ⅶ　英作文（語句整序問題）

語句整序問題を通じて，重要構文や語法に関する知識の定着度を問うとともに，日本語の意図に沿った正しい語順で英文を完成させる能力を考査することを意図した。

以　　上

国　　語

「現代の国語，言語文化（漢文を除く）」

Ⅰ　論説的文章の読解力および基礎的国語力を確認するための問題である。高等教育課程「現代の国語」に相当する。漢字・語彙など知識問題とともに，一定の分量を持つ文章から内容を理解する能力を問う。全て選択問題である。

問一：基礎的漢字力および語彙力の問題。常用漢字範囲内での漢字問題で，それぞれ常用漢字内での基礎的漢字力と語彙力を評価する。

問二：文中の言葉の意味を問う知識問題。語彙の正確な知識も評価する。

問三：論理を踏まえて空欄に副詞や接続詞を補充する問題で，正確な論理能力を評価する。

問四：論理と文脈を踏まえて傍線部の内容を説明する問題。

問五：論理と文脈を踏まえて傍線部の内容を説明する問題。

問六：論理と文脈を踏まえて傍線部の理由を説明する問題。

問七：論理と文脈を踏まえて傍線部の事象から生じる結果を把握する問題。

※問四~七までは，論理展開に基づいた正確な読解力を評価するとともに，思考力を評価する。

問八：本文全体から内容を把握する問題であり，段落ごとの要点を的確に把握し，文章全体の内容を正確に理解する能力を評価する。

Ⅱ　現代文，随筆の読解力と理解力を確認するための問題である。高等学校課程の「言語文化」に相当させた。語彙や文学史の知識問題とともに，一定の分量を持つ文章から内容を理解する能力を問う。全て選択問題である。

問一：基礎的漢字力および語彙力の問題。

問二：言葉の意味を問う基礎的語彙問題。

問三：論理を踏まえて傍線部の心情を考える問題。

問四：論理を踏まえて傍線部の理由を考える問題。

問五：論理を踏まえて傍線部の具体的な内容を考える問題。

問六：論理を踏まえて傍線部の理由を考える問題。

※問三~六までは，論理に沿って文脈を理解する能力を評価する。

問七：本文全体から内容を把握する問題であり，段落ごとの要点を的確に把握し，文章全体の内容を正確に理解する能力を評価する。

問八：文学史の知識を問う問題。

Ⅲ　古典散文の読解力を問う問題である。古典文法・文学史に関する基礎問題も含む。高等学校課程の「言語文化」に相当する。全て選択問題である。

問一：基礎的古語の意味を問う問題。古文語彙の基礎的知識が必要である。

問二：古典常識の知識を問う問題。

問三：傍線部の内容把握問題。

問四：傍線部の内容を把握する問題。

問五：傍線部における心情を考える問題。

※いずれも基礎的な古典語の語彙の基礎知識が必要であるが，その上で問三・四・五は文脈に即した解釈が必要となる。

問六：古典常識の理解を問う問題。

問七：古典常識の理解を問う問題。

問八：傍線部の内容を把握する問題。正確な文脈理解を必要とする。

問九：古典文法の知識を問う問題。

問十：文学史の知識を問う問題。

以　上

数　学　①

「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ａ（図形の性質，場合の数と確率），
数学Ｂ（数列），数学Ｃ（ベクトル）」

Ⅰ　数学Ⅰ（数と式，２次関数，三角比，データの分析），数学Ａ（場合の数と確率）の範囲の知識と計算力をみる。具体的には，次の通りである。

・無理数の分母の有理化
・余弦定理，三角形の面積の求め方
・平均値と分散
・円と接線

Ⅱ　数学Ⅱ（図形と方程式，三角関数，三次方程式）と数学Ｂ（数列）の範囲の知識と計算力をみる。具体的には，次の通りである。

・実数の性質
・２次方程式の解と係数の関係
・等差中項
・三角形の相互関係，加法定理

Ⅲ　確率についての知識と計算力をみる。具体的には，次の通りである。

・条件付き確率の定義式
・余事象の確率
・確率の基本性質

Ⅳ　微分法・積分法の知識と計算力をみる。具体的には，次の通りである。

・接線の方程式
・円と直線の位置関係
・面積の求め方

以　上

数　学　②

「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Ａ（図形の性質，場合の数と確率），
数学Ｂ（数列），数学Ｃ（ベクトル，平面上の曲線と複素数平面）」

Ⅰ　様々な分野の基礎的な知識を問う。(1)放物線の頂点および x 軸の交点の座標の求め方を問う。(2)相関係数の求め方を問う。(3)必要条件・十分条件の理解を問う。(4)解と係数の関係および 2 次方程式の虚数解の求め方の理解を問う。(5)位置ベクトルの基本計算の理解を問う。

Ⅱ　数学Ⅲの極限の知識を問う。(1)基本的な Σ 計算ができるかを問う。(2)部分分数分解を用いて,級数の部分和を求め,その極限が求められるかを問う。

Ⅲ　数学Ⅱの三角関数の知識を問う。(1)倍角公式・半角公式を利用できるかを問う。(2)(1)の変形を利用して cos x のとり得る範囲に留意して関数の値域を求められるかを問う。

Ⅳ　数学Ⅱの指数関数の知識を問う。(1)指数方程式の解法の理解を問う。(2)指数方程式の応用力を問う。

Ⅴ　数学 A の場合の数と確率の知識を問う。(1)状況把握および確率の基本計算の理解を問う。(2)パターンの把握およびそれぞれの場合の数・確率の計算能力を問う。

Ⅵ　数学Ⅲの微分法・積分法の知識を問う。(1)微分を使って接線が求められるかを問う。(2)曲線の弧長および回転体の体積を積分を使って求められるかを問う。

以　上

日　本　史

「歴史総合，日本史探究」

Ⅰ　古代の史料問題で，四つの史料を提示している。一つ目の史料は南北朝時代の中国および三国時代の朝鮮半島との外交関係。二つ目の史料は飛鳥時代の王権が取り組んでいた諸課題。 三つ目の史料は奈良時代の律令制における農地問題。四つ目の史料は平安京造営と東北経営をめぐる同時代の議論。それぞれについて，理解が適確なものであるかをはかっている。

Ⅱ　中世の文章問題で，二つの文章を提示している。一つ目の文章は平氏政権と室町幕府による対外政策について，それらが日本の社会・経済にいかなる影響を及ぼしたかの理解度を問うている。二つ目の文章は地図も引用しながら，京都の中世都市としてのあり方や，地方都市の発展について，院政期から戦国期までの状況を理解しているかを問うている。

Ⅲ　近世の文章問題で，二つの文章を提示している。一つ目の文章は画像も引用しながら，近世における「鎖国」の展開について，キリスト教禁令との関係，「鎖国」下での経済的・文化的交流のあり方を理解しているかを問うている。二つ目の文章は寛永文化から化政文化までの小説の変遷について，幕政改革や年代経過がいかなる影響を与えたかの理解度を問うている。

Ⅳ　近現代の文章問題で，三つの文章を提示している。一つ目の文章は明治時代から戦後にかけての日本と朝鮮半島の関係性。二つ目の文章は大正時代における第１次・第二次護憲運動の経緯。三つ目の文章は 20 世紀後半の東西冷戦における日本の動向。それぞれについて，理解が適確なものであるかをはかっている。

以　上

世　界　史

「歴史総合，世界史探究」

Ⅰ　イスラーム世界の成立と発展の歴史を問う文章問題である。アラビア半島を越えて広がりを見せたイスラーム世界の歴史的展開について基本的な知識が身についているかを確認することを意図した。

Ⅱ　アジア大交易時代に関する地図問題である。鄭和の艦隊の航海路を題材に，15 世紀から 16 世紀にかけてのアジア交易の発展と，当時のアジア地域の政治・社会情勢に関する歴史を，地理的観点とも合わせて理解できているかを確認することを意図した。

Ⅲ　19 世紀の西欧に関する年表問題である。ウィーン体制の成立と動揺，自由主義とナショナリズムの高まりが見られた 19 世紀における西欧各国の動きや当時の主要な出来事について，時系列とともに理解できているかを問うことを意図した。

Ⅳ　第二次世界大戦後の国際情勢に関する正誤問題である。特に植民地の独立と第三世界の台頭に関する主要な出来事について基礎知識を身につけることができているかを確認することを意図した。

以　上

地　　理

「地理総合，地理探究」

Ⅰ　地形と防災に関する基礎的知識および理解について，地形図やハザードマップなどの多様な図と統計情報の読み取りを通して問う大問として設計されている。設問の中には，図と説明文の両方を理解した上で初めて解答を導くことが出来るものが複数あり，単純な記憶力を問う設問ではない点が特徴的である。

Ⅱ　世界の環境問題についての基礎的知識および理解を問う大問として設計されている。社会科としての教養的知識と統計情報を読み解く能力やその地理的分布に関する知識を問う設問により構成されている点が特徴的である。

Ⅲ　世界の農林水産業に関する基礎的知識とその地理的分布から発生する食糧問題の知識を分布図や統計情報から読み解く能力を問う大問として設計されている。

Ⅳ　世界と日本の住居と都市問題に関する基礎的知識を問う大問として設計されている。他の大問と同様に統計知識や主題図を読み解くのみならず，写真に写る景観から社会的背景を読み解くなど，多様な資料から解答を導く能力を問う設問が特徴的である。

Ⅴ　ラテンアメリカの地誌に関する基礎的な知識を問う大問として設計されている。地誌問題らしく，地形・気候・植生および，これらと産業や生活との結びつきに関する統計資料などを読み解く能力を問う問題が特徴的である。

以　　上

政　治・経　済

「公共，政治・経済」

Ⅰ　日本国憲法下の統治機構や重要な個々の法律に関する基本的な理解を問う。

Ⅱ　民主主義における制度やアクターに関する基本的な理解を問う。

Ⅲ　日本におけるバブル経済崩壊後の経済と，政府と日本銀行の施策に関する基本的な理解を問う。

Ⅳ　紛争をテーマとしたリード文に関連して，国際社会における重要な政治的・経済的事柄についての基本的な理解を問う。

以　　上

物　　理

「物理基礎，物理」

Ⅰ　力学から，小球の衝突と円運動に関する出題である。

完全非弾性衝突，力学的エネルギー保存則，円運動に関する基本的な理解を問う。

Ⅱ　熱力学から，理想気体の状態変化に関する出題である。

状態方程式，冷却する過程とその p-V 図，およびその過程における仕事に関する基本的な理解を問う。

Ⅲ　波動から，ヤングの干渉実験に関する出題である。

明線の位置，媒質を満たした場合・単スリットを動かした場合・薄膜を置いた場合の明線の移動に関する理解を問う。

Ⅳ　電磁気学から，電磁場内での荷電粒子のらせん運動に関する出題である。

電場による等加速度直線運動，磁場による等速円運動，およびそれらの複合運動に関する基本的な理解を問う。

Ⅴ　原子から，原子核の安定性および核反応に関する出題である。

原子核の結合エネルギー，核反応におけるエネルギーおよび運動量の保存則に関する基本的な理解を問う。

以　　上

化　　学

「化学基礎，化学」

Ⅰ　原子とイオンに関する出題である。

価電子，電子配置，イオン半径，イオン結晶，溶解度積などについて基礎知識を問う。

Ⅱ　原子の構造に関する出題である。

安定同位体と放射性同位体の理解を問う。

Ⅲ　水の状態変化と希薄溶液の性質に関する出題である。

蒸気圧曲線についての理解や，溶質が蒸気圧，沸点，凝固点に与える影響を問う。

Ⅳ　典型金属元素の塩に関する問題である。

炭酸ナトリウムの工業的製法に関する知識と反応エンタルピーの理解を問う。

Ⅴ　結晶の構造に関する問題である。

銅とその合金を題材とし，基礎的知識と関連する計算能力を問う。

Ⅵ　有機化合物に関する問題である。

異性体に関する基礎知識や反応性についての理解を問う。

Ⅶ　高分子化合物に関する出題である。

フェノール樹脂の重合反応の理解を問う。

以　　上

生　　物

「生物基礎，生物」

Ⅰ　進化に関する知識と理解を問う問題である。小問１では進化に関する基礎的な知識をみる。小問２は自然選択では適応度が高くなる方向に進化が起こることから考える能力をみる。小問３は中立説に関する理解をみる。

Ⅱ　呼吸と発酵に関する知識と理解を問う問題である。小問１は呼吸に関する知識をみる。小問２ではツンベルク管を使った実験の理解をみる。小問３は呼吸商に関する理解と計算能力をみる。

Ⅲ　遺伝情報の複製に関する知識と理解を問う問題である。小問１では複製に関わる物質に関する知識をみる。小問２では DNA の半保存的複製に関する理解をみる。

Ⅳ　動物の配偶子形成と受精に関する知識と理解と考察力を問う。小問１では哺乳類における雄性配偶子の形成に関する知識をみる。小問２ではヒトにおける雌性配偶子形成と受精の時期に関する知識をみる。小問３ではウニの受精に関する実験結果から考察する能力をみる。

Ⅴ　ヒトの体の調節に関する知識と理解を問う。小問１では自律神経系と脳の機能に関する知識をみる。小問２では自律神経系の機能に関する知識をみる。小問３では血糖濃度の調節に関わるホルモンの分泌経路に関する理解をみる。

Ⅵ　植物の生殖と発生に関する知識と理解を問う。小問１では被子植物の生殖と発生に関する知識をみる。小問２では重複受精とそれによる種子形成の関係性に関する知識をみる。小問３では花粉管の誘因の分子メカニズムを与えられた条件から理解する能力をみる。

Ⅶ　生存曲線に関する知識と理解を問う。小問１では生存曲線に関する基本的な知識を問う。小問２では生存曲線の各パターンの特徴の理解をみる。小問３では生存率を求める応用力をみる。

以　　上